

新穂

資料館 友の会だより

第六十七号

―土田金二から麦僊へ―

「青雲の志」展

展示期間

令和8年8月15日（土）から

9月27日（日）まで

主催 新穂の歴史と民俗を考える会

今年は土田麦僊没後90年にあたりま
す。

当会では10年前にも特別企画「麦僊」
展を開催し、「高野詢二宛書簡」を公
開しました。また、新穂歴史民俗資料
館と佐渡博物館の収蔵品と個人所蔵
品、合計20点以上の作品を展示しまし
た。

その経験の上に、今回は新穂で土田
金二として育ち、「北陸」「松岳」「麦
僊」と飛躍していった青年の軌跡を作
品で追いたいと思います。

また、その姿に憧れた青年達の作品
も紹介します。

主な展示品（個人所蔵品から）

- 「北陸」時代までの絵描き帳
- 「松岳」時代の四季草花屏風
- 「松岳」時代の人物図
- 「麦僊」時代の山水図
- 「麦僊」時代の書簡

※初公開の書簡も展示します。

講演会および展示解説会

日時 令和8年8月29日（土）13時30～

（展示解説会終了予定16時）

会場

新穂地区公民館第2・3学習室
（新穂行政サービスセンター2階）

講師

上田 文

（関西学院大学 非常勤講師）

演題

土田麦僊没後九十年
「青雲の志」展によせて

定員

申込先着順40名（要予約）

参加費

講演会は無料ですが、展示解説会は資
料館の入館料200円（大人）が必要です。
ただし、優待入館券、資料館友の会の
会員証をご持参の方は無料入館できます。

申込先

新穂歴史民俗資料館

申込期限

0259（22）3117

令和8年8月23日（日）まで
※定員になり次第終了します。

（稲穂のつぶやき）

「土田麦僊の没後90年には、新穂とし
て何もしないわけにはいかない」と考え
て細々と動き出して、二年近くが経過し
ました。力足らずの感は否めませんが、
何とか公開にこぎ着けました。

上田文先生はじめ先輩諸氏のお力を頼
りに準備を重ねてきましたが、作品の所
在を確認できないケースが想定以上に多
く、時の流れの厳しさを痛感することと
なりました。

それでも、快く出展に応じてくださっ
た方々、また貴重な情報をお寄せくださ
った方々、感謝に堪えません。

この準備期間を通して、最も感じたこ
とは「土田麦僊」に寄せる敬意、また憧
れを皆さんがお持ちだったことです。わ
が故郷の偉人を語り継ぐ使命を、あらた
めて噛みしめたところです。

最後にお力をお寄せくださったすべて
の方々、展示品のデジタル処理にご協力
頂いた新穂印刷に感謝申し上げます。
（若）

新穂歴史民俗資料館

0259（22）3117

※入館料 大人200円 小中学生100円

※8月1日からPayPayでの支払いが可能に
なりました。

※月曜休館・入館は午後4時半まで

（月曜祝日の場合は翌日休館）

【令和8年8月10日 発行】